

記入例

宅地造成及び特定盛土等に関する設計説明書

※1(次頁参照)

1	工事主住所氏名	〇〇市〇〇町〇〇番地 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇				
2	設計者住所氏名	□□市□□町□□番地 □□□□株式会社 □□ □□ 〇				
3	工事施行者住所氏名	△△市△△町△△番地 株式会社△△ 代表取締役 △△ △△				
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	岐阜市〇〇町三丁目123番4及び123番5の一部 (緯度：00度00分00.0秒、経度：000度00分00.0秒)				
5	造成等を行う土地の面積	0,000.00平方メートル				
6	工事着手前の土地利用状況	農地：田 宅地：駐車場				
7	工事完了後の土地利用	宅地：建築物（宅地分譲）				
8	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土				
9	土地の地形	溪流等への該当 有・無				
10 工 事 の 概 要	(1) 盛土又は切土の高さ	盛土0.00／切土0.00メートル				
	(2) 盛土又は切土をする土地の面積	000.00平方メートル				
	(3) 盛土又は切土の土量	盛土	平均の盛土高・切土高等を基に算出した値を記載			000.00立方メートル
		切土				00.00立方メートル
	(4) 擁壁	番号	構造	高さ	延長	
		擁壁1	RC構造	1.20メートル	15.00メートル	
	(5) 崖面崩壊防止施設	番号	構造	高さ	延長	
				メートル	メートル	
	(6) 排水施設	番号	種類	内法	寸法	延長
		排水1	可変側溝	B30	センチメートル	18.00メートル
		排水2	集水枒	B50×D50	センチメートル	1基
	(7) 崖面の保護の方法	排水3	VP管	φ15	センチメートル	1.00メートル
		擁壁・コンクリートブロック				
(8) 崖面以外の地表面の保方法	芝張り					
(9) 工事時の危害防止のた置め	仮囲いにより第三者への災害防止を行う					
(10) そ の 他 の 措 置	工事時の雨水の処理として、沈砂池を設け水中ポンプにて区域外の側溝に流す					
(11) 工事着手予定年月日	許可日					
(12) 工事完了予定年月日	令和0年0月00日					
(13) 工 程 の 概 要	仮設工→掘削工→擁壁工→埋戻工→排水工→整地					
11	そ の 他 必 要 な 事 項	法定外公共物敷地占用・工作物新築等許可申請済、農地法第5条許可申請中				

< 「6 工事着手前の土地利用状況」・「7 工事完了後の土地利用」の記載例 >

[例]農地：田
畑

採草放牧地
農業用施設（畜舎、温室 等） 等

[例]宅地：建築物（住宅、工場、宅地分譲、分譲住宅 等）

レジャー施設（建築物を伴わない）

太陽光発電設備

資材置き場

駐車場

駐輪場

残土処分場 等

< よくある指摘事項 >

※1 「資格を有する者の設計」の場合は、**資格要件が確認できる書類**（卒業証明書等）を添付してください。

※2 雨水の排水路に蓋を布設する場合は、**5m 以内に 1 ヶ所以上のグレーチング蓋**の設置が必要です。

[側溝延長 9.00m の場合] $9.00 \text{ m} \div 5\text{m} = 1.80 \rightarrow$ グレーチング蓋 **2 ヶ所以上**設置

※3 最終放流管の内径は **φ15cm 以上** が必要です。

※4 管渠の内径の **120 倍を超えない**範囲の長さ毎に**マスの設置**が必要です。

[φ15cm の場合] $0.15\text{m} \times 120 = 18\text{m} \rightarrow$ 18m を超えない範囲にマスを設置